

初優勝を逃し、肩を落とす会津北嶺ナイン。会津勢初の夏の甲子園はならなかつたが、決勝でも見せ場をつくった



力強い応援で選手の背中を押す三塁側スタンド



5回先頭打者で中前
打を放つ山本選手

高校野球福島大会決勝 会津北嶺

大舞台で聖光と熱戦

いわき市のヨークいわきスタジアム（いわきグリーンスタジアム）で25日に行われた第107回全国高校野球選手権福島大会の決勝で、会津北嶺は聖光学院に敗れたが、最後まで諦めない姿勢を貫き大舞台で輝いた。応援スタンドからは「会津から甲子園」の声が響き、選手の躍動を後押しした。

会津北領は持ち味の右前打、青柳諒選手（1年）の内野安打で「攻撃野球」を決勝でも発揮した。四回に聖光学院に先制を許したが、五回に山本優太選手（3年）の中前打、井ノ川陽太選手（2年）が同点の押し出し四球を選び、五十嵐悠斗選手（3年）の右前

A color photograph of a young baseball player, likely a pitcher, in mid-celebration. He is wearing a white baseball cap with a large 'W' on the front, a white long-sleeved shirt under a blue and white striped baseball jersey, and a dark belt. He has his arms raised in a 'V' shape, smiling broadly. The background consists of a chain-link fence.

5回、青柳選手が三塁への内野安打を決め、ガッツポーズ

打で勝ち越した。吉田海刀選手（2年）の適時内野安打でさうに1点を加えた。
守りでは関根選手、小林雄陽選手（3年）、水村劉之介選手（2年）の継投で聖光学院打線に立ち向かった。八回2死一塁の場面では中堅渡部智大選手（2年）がダイビングキャッチで打球を好捕し、球場を大きく沸かせた。

スタンドでは応援団や保護者らが選手の勇姿を見守った。保護者会長の五十嵐宏行さんは「一戦一戦強くなつていつた。最高の夏をありがとうございました」と目を潤ませた。

同校応援団でトランペットの演奏を担当した深野聖愛さん（3年）は「負けは悔しいが、決勝で応援できて楽しめた」と話した。